

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 1 回	就業支援	部会	参加者数	28 人	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	25 年 6 月 28 日 (金) 13:30 ~ 14:45						
主 題 マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の部会の取り組みについて 2 長野県自立支援協議会就労支援部会の取り組みについて 3 優先調達推進法について 4 障害者短期トレーニング促進事業について 5 ハローワークより 6 就労継続支援事業所へのアンケート結果について 7 その他 							
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1 小澤部会長より 目標:「年間活動を通じて、教育・企業・福祉機関のネットワーク作り、強化を図る」 活動計画:3か月に1回程度開催し、分かりやすい制度の説明や、就労者の事例紹介、障害者雇用企業の見学や障害者雇用のメリットの紹介などを行っていく。 2 きらりあ 唐木専門員(県自立支援協議会就労支援部会圏域代表者)より ・県自立支援協議会就労支援部会では、25年度、障害者の雇用促進、圏域毎の就業・生活支援センターとの連携、教育との連携を中心に活動していく予定。 ・県ではOJT推進員派遣事業が予算化されている。圏域としてぜひ活用していきたい。希望者は、部会として推薦していくので、自薦他薦を問わず、興味のある方はご連絡いただきたい。 3 県セルフセンター協議会 梅津事業化推進員より ・優先調達推進法が、平成25年4月1日より施行され、都道府県、市町村等の行政機関は、障害者の働く事業所等から優先的に物品を調達、斡旋することとなった。 ・各事業所は、行政への営業活動を強化している。市町村は企業と連携し、企業の作業を積極的に獲得・斡旋できるよう、ご協力いただき、工賃アップ推進へのご理解をお願いしたい。 4 きらりあ 江口主任就業支援ワーカーより ・一般就労希望の障害者が行う短期間の職場実習で、きらりあに登録された支援対象者であれば、手帳の有無に関係なく利用が可能。1人1回につき1か月以内かつ合計60時間を上限とする。 ・職場実習生には、1日500円の手当も支給される。傷害保険に加入するが、保険料は県が助成するので、個人負担はない。一般企業での実習にぜひご活用いただきたい。 5 伊那公共職業安定所より ・上伊那の5月月間有効求人倍率は0.62倍。県下で最も低く、一般の方の雇用情勢も大変厳しい。 ・障害者雇用に係る助成金制度が用意されている。各種助成制度を上手に活用し、障害者雇用に結びつくよう、ハローワークとしても当事者や企業との仲立ちを行っていかれたらと考えている。 6 きらりあ 江口主任就業支援ワーカーより ・圏域事業所を対象に、就労支援についてのアンケートを実施。14事業、11事業所より回答を得た。 ・ジョブコーチ有資格者が圏域にほとんどいない。養成研修を受講することで、就労へのトレーニング等も効果的に実施できる。ぜひ積極的に受講をお願いしたい。 ・各事業所からは、情報交換の要望が多く出された。部会に参加し、情報共有を進めてもらいたい。 7 情報提供 ・下伊那のアップル工房マツカワ(就労継続支援A型事業所)が、6/30で閉鎖されることとなった。 ・南箕輪にある事業所については、当初A型事業所となる予定であったが、B型での申請となった。 							
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの議題について、貴重な情報提供が行われた。関係諸機関の情報共有の機会として、この部会を積極的にご活用いただきたい。 							
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回は、9月6日(金) 15:00～ 開催予定。 ・伊那養護学校から問題提起あり。次回の議題としたい。 							

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第2回 就業支援 部会	参加者数	30人	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	25年9月6日(金) 15:00 ~ 17:00				
主 題 マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 OJT推進員の推薦について 2 平成25年度以降の就労系障害福祉サービスの利用に係るアセスメントについて 3 伊那養護学校より 4 上伊那の就労継続支援A型事業所(こころ、ハッピークローバー、西駒郷)より 5 長野障害者職業センターの業務について 6 上伊那圏域福祉フォーラムについて 7 ハローワークより 8 その他 					
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1 について(小澤部会長より) <ul style="list-style-type: none"> ・部会として、社会福祉法人 親愛の里シンフォニー 生活支援員 小西昭彦氏を推薦したい。(全員一致で承認) 2 について(長野県健康福祉部障害者支援課 柿澤氏より) <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校等卒業後に就労継続支援B型を利用する場合、24年度末までは経過措置として、市町村の判断でアセスメントを経なくてもB型の利用を可としてきた。 ・この経過措置は一定条件のもと平成26年度末まで延長され、その間にアセスメント体制を整備しなければならないこととなった。 ・平成25年度以降の経過措置期間中、市町村は就労継続支援B型事業の利用可否について、協議会等から意見を徴すること等により判断する取扱いとなる。 ・アセスメントは、基本的に、就労移行支援事業所が実施するが、困難な地域については、障害者就業・生活支援センターを活用したアセスメントを行うことで対応することとなる。 ・その他、就労系サービスにかかるアセスメントQ&Aも参照されたい。 3 について(伊那養護学校古田教諭より) <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の就労継続支援B型利用適否の判断については、25年度より協議会等からの意見を徴すること等により市町村が判断できることとなったが、現在、学校で行っている支援会議を「協議会等」に位置付けていただけよう、部会として市町村連絡会へ提案していただきたいが、いかがか。 その方向で提案していく。 4 について(各事業所担当者より) <ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域のA型事業所3か所から、事業内容の説明、PRがあった。 5 について(長野障害者職業センター山本氏・恒成氏) <ul style="list-style-type: none"> センターの役割について ・ハローワークや就労支援機関と連携しながら、障害者、企業に対して就職支援サービスを実施している。 ジョブコーチ支援の概要と利用状況について ・目的は、対象者の職業生活の安定と障害者雇用の促進。対象は、障害者本人、事業主及び家族で、対象者の障害種別、手帳所持の有無等は問わない。 ・雇用前の実習中から、あるいは雇用後、不応等、問題が生じたとき等、いつでも支援に入ることが可能。 ・支援期間は、標準2～4か月。1～7か月の間で状況に応じ個別に設定する。 ・集中支援期、移行支援期、フォローアップを経て、最終的には事業所主体の雇用管理体制を整備して支援を終了できることを目指している。 ・県内では、東北信での活用が多い。南信はジョブコーチ支援を受けずに就職されている方が多い。近年は精神障害や発達障害者のジョブコーチ支援の活用も増えてきている。ぜひご利用をお願いしたい。 6 について(きらりあ 江口主任就業支援ワーカーより) <ul style="list-style-type: none"> ・10月5日(土)辰野町にて開催する。第2分科会「働く」を支援する、では、長野障害者職業センターと協力してジョブコーチ支援の紹介などを行う予定。参加申し込み不要。ぜひ多くの方にご参加をお願いしたい。 7 について(ハローワーク 花岡氏より) <ul style="list-style-type: none"> ・10月17日(木)13:30～16:00、いなっせ6Fホールにおいて、障がい者の就職・雇用相談会を開催する。 9月6日現在、15社が参加予定。ぜひ多くの方にご参加をお願いしたい。 8 について(長野県健康福祉部障害者支援課 市川氏より) <ul style="list-style-type: none"> ・信州あいサポートフォーラム2013が、9月13日(金)長野県県民文化会館にて開催される。ぜひご参加を。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの議題について貴重な情報提供が行われ、制度等についての理解を深めることができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については、後日お知らせする。 					

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第4回 就業支援 部会			参加者数	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	25年12月13日(金) 14:00 ~ 17:00					
主 題	1 上伊那圏域自主商品展示兼販売会について 2 第2回就業支援部会、上伊那圏域福祉フォーラムの報告 3 長野県就労支援部会報告 4 障害者の職場実習推進事業について 5 障害者雇用を考えている事業所より						
主 な 意 見 な ど	1 について 展示兼販売会を14:00から15:30まで、部会会場にて開催した。 (1) 販売会参加事業所(計11カ所)より、各々3分程度のプレゼンテーション。(14:00~14:45) (2) 展示兼販売会の開催。(14:45~15:30) 参加事業所は、次のとおり。(敬称略・順不同) ・伊那市社会福祉協議会 障害者社会就労センター ゆめわーく (伊那市) ・伊那市社会福祉協議会 輪っことはうす・コスモスの家 (伊那市) ・伊那市社会福祉協議会 障害者社会就労センター さくらの家 (伊那市長谷) ・長野県社会福祉事業団 伊那ゆいまーる (伊那市) ・長野県社会福祉事業団 西駒郷 わーく西駒 信州まめ匠 (駒ヶ根市) ・長野県社会福祉事業団 辰野町障害者就労支援センター 工房ぬくもり (辰野町) ・一般社団法人 地の会 アップ わーく (南箕輪村) ・南箕輪村社会福祉協議会 南箕輪村障害者生きがいセンター ひまわりの家 (南箕輪村) ・特定非営利活動法人 やればできる チャレンジセンター笑顔の時間 (南箕輪村) ・社会福祉法人 親愛の里 シンフォニー (宮田村) ・長野県社会福祉事業団 西駒郷 宮田支援事業部 わーく宮田 (宮田村) 展示兼販売会は、大勢の方にご参加いただき、盛況であった。 なお、上記以外の3事業所からも、紙面によるPRがあった。(伊南桜木園、ふれんどわーく、こまくさ園) 2 について (1) 第2回就業支援部会報告(小澤部会長より) ・伊那養護学校より提案のあった卒業生の就労継続支援B型利用適否の判断については、現在、学校で行っている支援会議を「協議会等」に位置づけるよう市町村連絡会に提案し、了承された。 (2) 上伊那圏域福祉フォーラム報告(きらりあ 江口主任就業支援ワーカー) ・10/5(土)に辰野町にて開催。就業支援部会としては、「働く」を支援するをテーマに、実際に行っているジョブコーチ支援の紹介やジョブコーチを上伊那で増やすための取り組みについての分科会を担当した。参加者17人。 ・本フォーラム分科会は、第3回就業支援部会を兼ねている。 3 について (1) OJT推進員活動について ・OJT推進員として承認いただき、12月に入り、初めての支援活動に携わっている。実習の緊張を解いたり、職場との橋渡しの役割が担えたらと考えている。(OJT推進員 親愛の里 シンフォニー 小西氏) ・採用可否が決まる前のお試し実習には、ジョブコーチが入れない。就職へのプロセス支援としてOJT推進員への期待は大きい。現在、圏域には1名であるが、さらに登録を増やし、活躍を期待したい。(きらりあ 唐木氏) (2) 就労継続支援B型事業所利用のためのアセスメントについて(きらりあ 唐木就業支援ワーカー) ・平成27年度以降、B型事業所利用のためには、一般就労経験のない者、就労移行支援事業所利用のないすべての者を対象にアセスメントをとらなければならない。(一部例外あり) ・B型利用のためには、まず就労移行支援事業所の利用申請が必要であり、相談支援事業所で就労面のサービス等利用計画を作成してもらい、就労移行支援事業所によるアセスメントを経て、相談支援事業所による最適なサービスの提案を参考としつつ、再びサービス等利用計画を相談支援事業所において作成してもらい、ようやくB型の支給決定につながるプロセスとなる。 ・B型利用の前段階として、B型利用がふさわしいかを見極めるため、このような煩雑な手続きを経ることとなる。 4 について(ハローワーク 花岡氏より) ・障害者の職場実習の有効性については、国も実習者・受入事業所双方のメリットを認め、当事業を立ち上げている。 ・対象者は、就労支援機関等に登録・相談している障害者で、職場実習期間は、1週間~1か月、日数は5日~10日、1日3時間以上から設定可能。受入事業所には、1日2,000円の協力謝金(上限2万円)が支払われる(支給要件あり)。 ・県の障害者短期トレーニング推進事業と同時実施も可能である。 5 について ・株式会社日研環境サービスとオリンパス株式会社より清掃業務での障害者雇用に関する情報提供が行われた。(オリンパス株式会社の情報提供は、きらりあ 江口主任就業支援ワーカーが代理説明を行った)						
ま と め	・前半の展示兼販売会は盛況であった。後半の協議では、就労に関する情報共有を図ることができた。						
次 回	・詳細については、後日お知らせする。						

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第5回 就業支援 部会	参加者数	21人	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	26年 2月 14日(金) 15:00 ~ 17:00				
主 題 マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 辰野アドバイザーあいさつ 2 第4回就業支援部会報告 3 長野県就労支援部会報告 4 今年度就業支援事例及び上伊那圏域障害者就業・生活支援センターの活動状況 5 今年度のまとめ 6 その他 					
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1 について(辰野アドバイザーより) <ul style="list-style-type: none"> ・触法者、犯罪者、出所してきた方々の雇用をどう考えていくか、全国・全県レベルで話題になってきている。上伊那圏域としても、こうした方々の雇用について来年度は議論していくが必要になってくるだろう。 2 について(小澤部会長より) <ul style="list-style-type: none"> ・前半、展示兼販売会を行い、盛況だった。またB型利用アセスメントについて情報共有を図ることができた。 ・詳細は、第4回就業支援部会議事録を参照されたい。 3 について <ol style="list-style-type: none"> (1)OJT推進員活動について(きらりあ 唐木・シンフォニー 小西OJT推進員より) <ul style="list-style-type: none"> ・県の就労支援部会が1/15(水)に開催され、各圏域のOJT推進員の活動状況について報告があった。 ・上伊那圏域においては、これまで2社について実習を行い、それぞれ3月採用、4月内定が決まった。 ・うち1社については、ハローワーク、OJT推進員、企業、きらりあがチームでネットワークをつくり、短期トレーニング、職場実習制度、OJT制度をうまく活用することで、採用に結びついた好事例である。 (2)就労系障害者福祉サービス利用に係るアセスメントについて(きらりあ 唐木) <ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域として、今後この課題に取り組むためには、次の3点が必要と思われる。 ア 相談支援専門員との連携(相談支援推進部会との連携) イ 就労継続支援B型事業所の新規利用希望者数の把握 ウ 就労移行支援事業所への説明と協力依頼 ・県の部会ではプロジェクトチームを立ち上げる予定。他圏域の状況もみながら、本部会でも検討が必要。 ・B型事業所も就労移行支援事業所との多機能型で展開していただけるとありがたい。(伊那養護学校) 4 について(きらりあ 唐木・江口より) <ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域障害者就業・生活支援センターより2つの事例とセンター活動状況が報告された。 (1)事例1「再チャレンジ!!」(事例詳細 略) <ul style="list-style-type: none"> ・本人の働きたいという強い思い、会社の求人ニーズと本人の長所の一致などが、失業後の再チャレンジにプラスに作用した。 (2)事例2「やってみなくちゃわからない」(事例詳細 略) <ul style="list-style-type: none"> ・やる前からできないではなく、実際にやってみる。いきなり面接ではなく、見学からスタートするなど、ステップを踏んで本人に自信をつけてもらうことが大切である。 (3)上伊那圏域障害者就業・生活支援センターの活動状況 <ul style="list-style-type: none"> ・26.2.10現在のセンター利用登録者数は356人。新規登録者、相談件数とも既に昨年度を上回っている。 ・職業評価依頼や職場実習(短期トレーニング含む)、職業準備訓練、ジョブコーチ支援件数、雇用主支援等、いずれも昨年度実績を上回っており、今年度就職が決まった方も昨年度全体数を超えている現状が報告された。 5 について(参加者全員) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者全員より今年度の部会の感想や来年度への希望などが語られた。 ・優先調達推進法の施行を受け、行政として来年度以降も、物品調達等に引き続き力を入れていきたい。 ・地域的な課題として、通勤にかかる交通弱者についての支援策の検討なども必要かと思う。 ・平成27年度以降のB型利用アセスメントを圏域としてどうするかが課題である。 ・行政の方々にさらに積極的に参加してもらえよう、また普通高校の先生方の参加も呼びかけたい。 ・会場を役場会議室に設定する、企業見学や養護学校見学を兼ねた部会開催なども検討してみたい。 6 について(きらりあ 江口より) <ul style="list-style-type: none"> ・「障害者の就労・雇用促進フォーラム」及び「ぶれジョブフォーラムin伊那」開催のお知らせがあった。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・報告、事例紹介、情報提供等を通して、今年度のまとめ及び次年度の方向性を考えることができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度5回の部会を開催してきた。多くのみなさんにご参加いただき、ありがとうございました。 ・来年度も引き続き、積極的なご参加をよろしくお願いいたします。 					